

豊平学園は令和6年度 義務教育学校に発展します!

令和5年度が始まりました。3年間の長きにわたった新型コロナウイルス感染症防止対策によるマスク着用等の取組もようやく終息の兆しが見えてきました。

今年度と次年度は豊平学園にとって大きな節目となる年度です。これまでもお知らせしてきましたように、令和6年4月には、豊平小学校と豊平中学校は「義務教育学校 豊平学園（現時点では正式名称ではありません）」に移行する予定です。

これらの状況を踏まえ、豊平小・中学校では、令和6年度を見据えて学園経営構想を見直し、ミッション等を設定しました。

校訓	継続は力なり
ミッション	豊平地域に質の高い義務教育を提供し続ける
ビジョン	I 学校・保護者・地域の協働と、II 義務教育学校の特徴を生かした教育活動により、社会を生き抜く力の基礎を培う学園

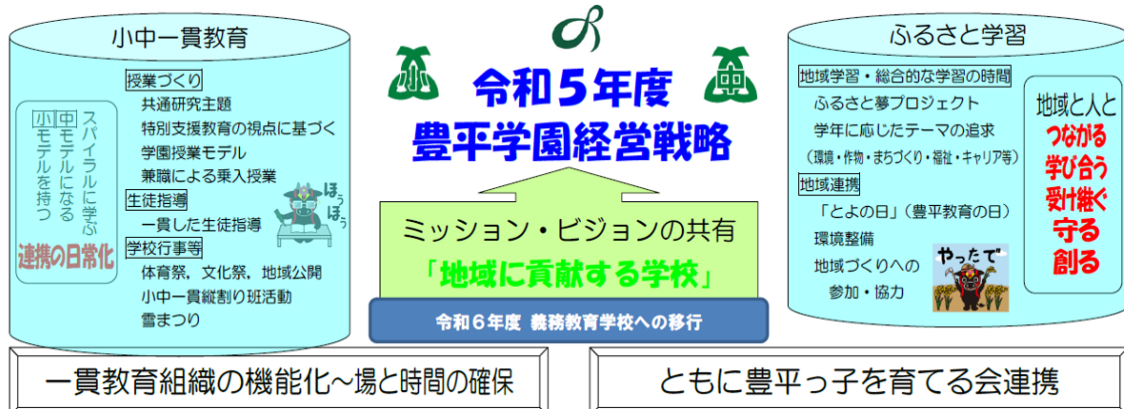
教育目標 豊かな体徳知を身につけ、豊平を想う児童生徒の育成

今年度の重点は次のとおりです。

- ①小中連携加配を中心として、小中双方向の兼職による指導の充実（児童生徒と教職員をつなぐ）
- ②小中縦割り班活動の一層の充実（児童生徒をつなぐ）
- ③道徳の授業づくりによる共同研修（教職員をつなぐ）
- ④義務教育学校への円滑な移行（組織をつなぐ）

令和5年度も豊平学園の教育推進にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

豊平学園豊平小学校長 二井岡直文
豊平中学校長 栩田 隆志



一貫教育組織の機能化～場と時間の確保

- 1 授業づくり
 - 充実** 共通研究主題で、授業づくりを深めます～研修計画の共有。
 - 充実** 特別支援教育の視点に基づく学園授業モデルを共有します。
 - 新規** 小中中間双方向で兼職による授業を実施します。
 - 継続** 中学校教員による乗入授業を実施します。
- 2 生徒指導
 - 継続** 共通の生徒指導規程を徹底します。
- 3 学校行事等
 - 継続** 体育祭、文化祭、地域公開、雪まつりを共同で実施します。
- 4 義務教育学校移行
 - 新規** 小中9年間を見通した豊平学園学校経営計画書を作成します。



ともに豊平っ子を育てる会連携

- 1 地域学習・総合的な学習の時間
 - 継続** ともに豊平っ子を育てる会と連携し、ふるさと 豊平を学びの場に、継続 環境、まちづくり、福祉等をテーマに、社会で生きる力をつけるとともに、次代の豊平を担う人材育成につなげます。
 - <小学校>
 - 低学年 交通安全教室、世代間交流、福祉施設訪問、花の栽培
 - 中学年 こんにゃくづくり、そば学習、米づくり、アンチサッカー、神楽、1/2成人式
 - 高学年 環境教育、地域課題・地域づくり、歴史
 - <中学校> 職場体験学習、保育実習、体操教室、立志式
- 2 地域連携
 - 継続** とよの日、見守り活動
 - 継続** 環境整備
 - 継続** 地域づくりへの参加・協力



毎月 1日…自転車安全利用の日、2日…北広島町児童生徒安全の日

1学期のとよの日 4月14日(金)、5月16日(火)、6月14日(水)、7月14日(金)

併設型小中一貫校・コミュニティ・スクール 豊平学園 令和5年度経営構想



校訓：継続は力なり
 ミッション：豊平地域に質の高い義務教育を提供し続ける
 ビジョン：Ⅰ 学校・保護者・地域の協働と、Ⅱ 義務教育学校の特徴を生かした教育活動により、社会を生き抜く力の基礎を培う学園

令和6年度
義務教育学校 豊平学園へ



学園教育目標

豊かな体徳知を身につけ、豊平を想う児童生徒の育成

体 と とことんやる
 基本的な生活習慣・心身の健康

粘り強さ・回復力・耐える力

- 専門性を生かした体育
- 部活動の充実
- 生活リズムの確立

知 よ よりよく学び続ける
 学ぶ楽しさ・確かな学力

課題発見・解決力 主体性 知識・技能

- 特別支援教育の視点に基づく授業モデル
- 複数指導体制による個への指導の充実
- 教科等の専門性を生かす指導体制
- 協働的な学び

徳 ひ 人の気持ちを考え行動する
 思いやり・社会性

コミュニケーション能力・協働する力 主体性

- 道徳教育の研究～「令和5年度 県中道」
- 異学年交流（縦割り活動）の日常化
- 9年間一貫の生徒指導

郷土愛 ら らぶ（LOVE）ある
 郷土への愛着と誇り

主体性 ふるさとを想う態度

- ふるさと夢プロジェクト
- ふるさとで学ぶ総合的な学習の時間（環境・農業・まちづくり・福祉・キャリア等）
- 地域連携「とよの日」（豊平教育の日）
環境整備
地域づくりへの参加・協力

ともに豊平っ子を育てる会



安全文化の創造・醸成
 新型コロナウイルス対策・防災教育

GIGAスクール構想実現
 ICTの効果的活用・個別最適化

働き方改革・服務規律確保・人材育成

学校評価
 教育資源

情報発信
 公開

